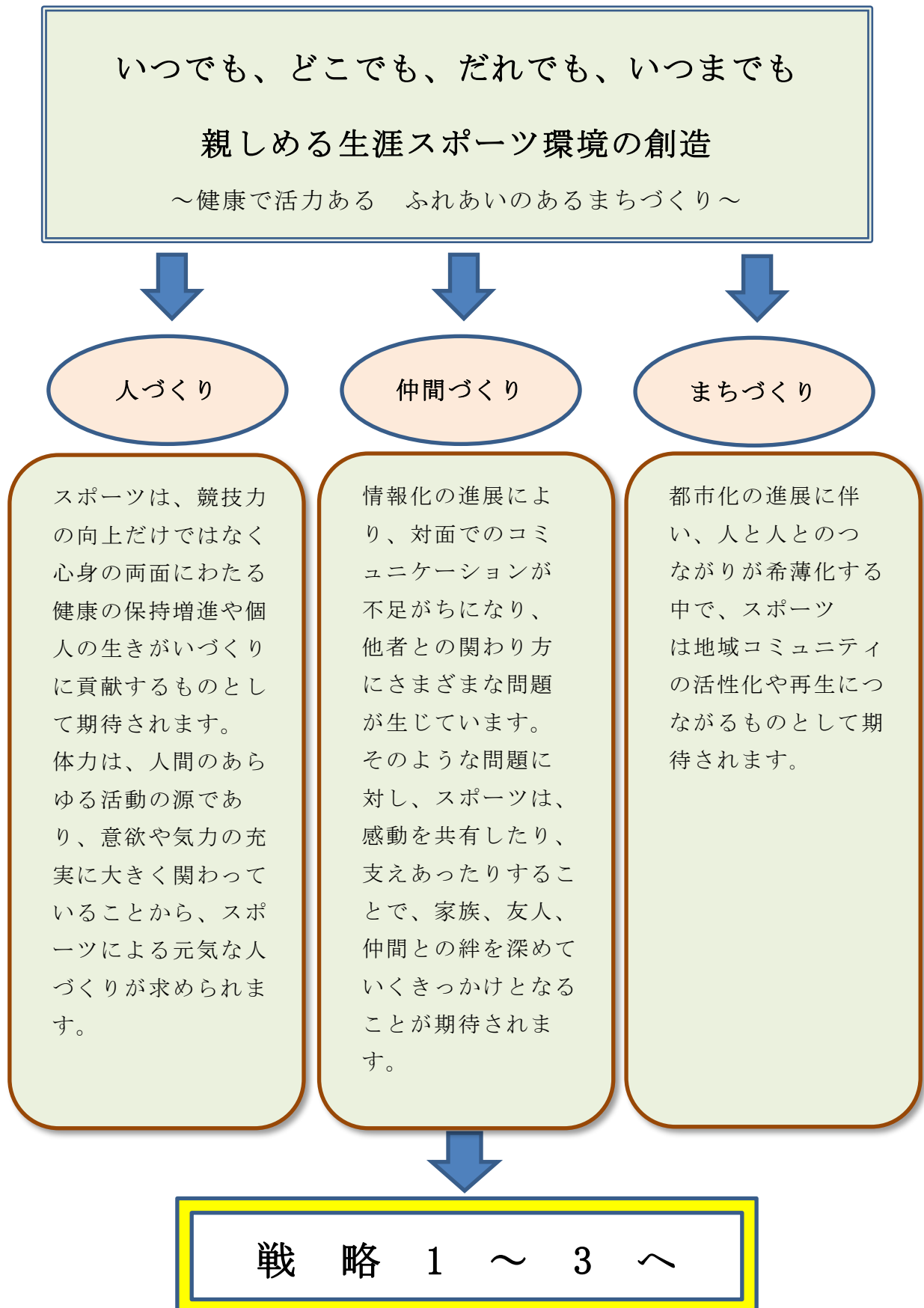
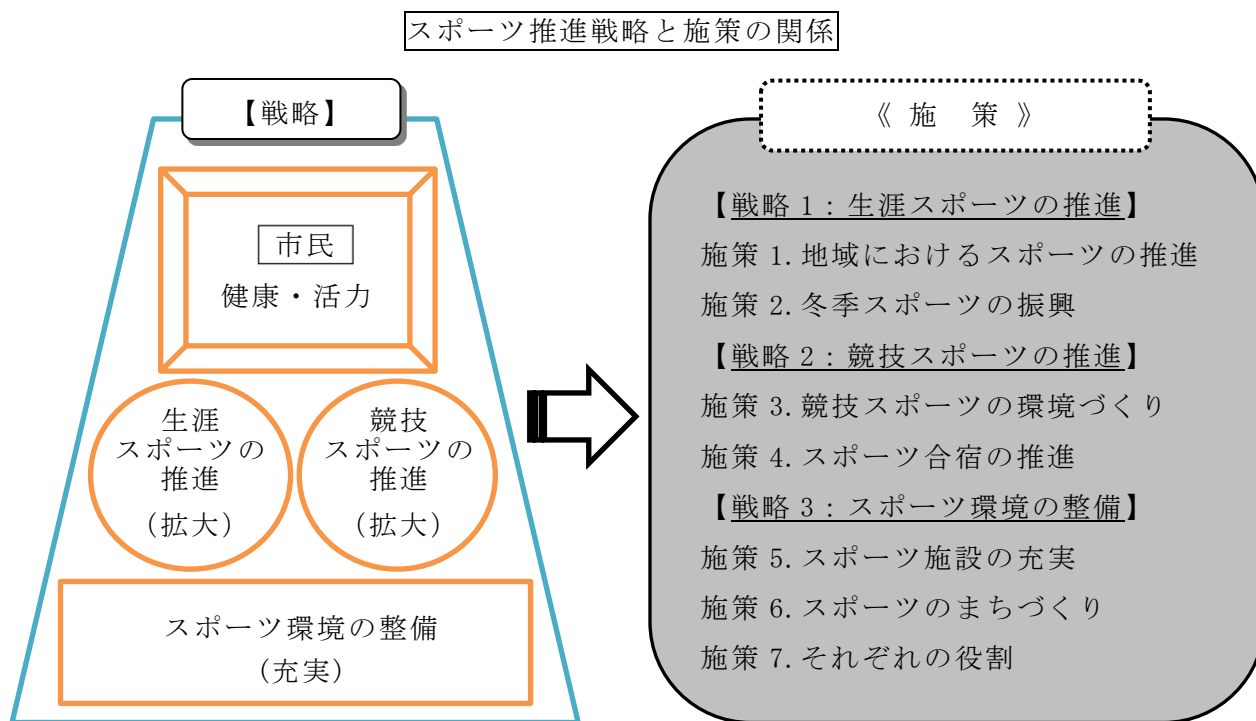


本市のスポーツ推進の現状と課題を踏まえ、本計画の施策を展開します。
下図は、基本的な考え方です。



2. スポーツ推進の方針

本計画ではスポーツ推進委員による施策評価やアンケート調査の結果を踏まえ、「生涯スポーツの推進」及び「競技スポーツの推進」、「スポーツ環境の整備」のこれら3つをスポーツ推進戦略として定めます。



また、スポーツ実施率について、スポーツ庁は令和3年度までの目標を週1回以上のスポーツ実施が65%、週3回以上が30%としています。また、北海道は令和4年度までに週1回以上が65%以上としています。

北見市においては、スポーツ推進委員や学校開放事業等の利用団体に対し実施した調査では、30分以上の運動を週1回以上している市民は86.6%であり、週3回以上は43%でした。日頃、スポーツを愛好している市民では国や道の指標を上回っていますが、引き続き、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備するため、次に示すスポーツ推進の方策に基づき、スポーツ推進施策を展開します。

(1) ライフステージ別スポーツの推進

地域におけるスポーツの活性化に向け、幼児期、学齢期、青年・成年期、高齢期といったライフステージ別に推進施策を展開します。

(2) スポーツを軸とした交流人口の拡大とまちづくりとの連動

市内出身のプロスポーツ選手や大会・合宿で本市を訪れるトップアスリート（チーム）と市民交流の活性化やスポーツ情報の発信強化などを通じて、スポーツによるまちづくりの推進施策を展開します。

(3) 役割分担の明確化

本計画に掲げた各施策の推進は、行政のみならず市民をはじめ、大学、医療機関、スポーツ団体、民間企業など多様な主体の協働があって初めて実現できるものです。

これらの関係機関や団体の役割分担のもと、協働・連携を進めるとともに、ネットワークの形成に努め、本市のスポーツを推進します。

3. 達成目標の目安（数値目標）

本計画では第2期北見市総合計画（前期）において設定した目標値の達成を目指し、各施策を展開します。

指 標 名	単位	参考実績	目標	関連内容
スポーツ教室参加者数	人	5,628	7,000	生涯スポーツの推進
スポーツ合宿受入数	人	16,335	26,000	競技スポーツの推進
全道・全国大会出場者数	人	723	900	競技スポーツの推進
市が設置する スポーツ施設利用者数	人	1,249,048	1,600,000	スポーツ環境の整備

Jr.アスリートチャレンジアカデミー



第2章 計画の基本的な考え方

1. スポーツ推進の基本理念

(1) 「いつでも」スポーツに親しめるように

多様化する社会情勢の中で、市民がそのライフスタイルに応じて、いつでもスポーツに親しむことができる環境をつくります。

(2) 「どこでも」スポーツに親しめるように

市民が施設を利用しやすい環境をつくります。また、家庭やその周辺で行えるよう場所を選ばないスポーツの推進に努めます。

(3) 「だれでも」スポーツに親しめるように

子どもから高齢者まで年齢を問わず、男女の性別も問わず、また、障がいの有無に関わらず、誰でもスポーツに親しむことができる環境をつくります。

(4) 「いつまでも」スポーツに親しめるように

生涯を通じてスポーツに親しむことは、健康で充実した活力ある人生を送るための非常に重要な手段のひとつです。そのため、市民がその年代に応じスポーツに親しむことができる環境をつくります。

本計画では、市民一人ひとりから、地域づくりやまちづくりまで視野を広げ、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも親しめる生涯スポーツ環境の創造」をスポーツの推進を図るための基本目標として掲げます。

ブラインドテニス体験会



ラジオ体操「おはよう会」

